

研究タイトル：

EFL 学習者の英文法学習におけるインプット処理指導



氏名： 塔娜/TANA

E-mail: tana@numazu-ct.ac.jp

職名： 助教

学位： 修士(言語学・英語教育学)

所属学会・協会：

全国英語教育学会／関東甲信越英語教育学会；日本言語テスト学会；外国語教育メディア学会；Asia TEFL

キーワード：

インプット処理指導、能動的でコミュニケーションな英語指導

技術相談

提供可能技術：

・インプット処理指導、語学学習法、英語コミュニケーションの指導、英文読解指導・

研究内容：

第二言語習得研究において、インプットは学習者の習得にとって非常に重要な役割を果たしていると言われている。しかし、英語教育において、教師が英語を母語としない EFL (English as a foreign language) 学習者に英文法の指導をする際に、いかに多くの形式練習をさせるかという観点から授業を組み立てる方が多い。そのため、文法指導では文の意味理解よりもパターンプラクティス等の産出を中心としたアウトプット練習が優先されている。実は言語習得には、インプットからアウトプットへ進む言語習得過程が重要であり、文法指導もその過程に基づくべきであるが、アウトプット中心の指導法は第 I 過程と第 II 過程の構築なしに言語習得の第 III 過程だけに焦点を当てている(図1)。一方、インプット処理指導法とは、言語習得過程の第 I 過程に焦点を与える(図2)。学習者に文法形式を含んだインプットを与えることによって意味理解を集中的に体験させ、形式と意味の繋がりに学習者の「気づき」を起こさせる指導法であり、その後にある言語発達システムに直接働きをかけることができる。

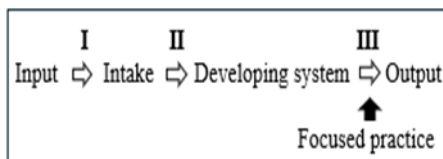


図 1.アウトプット指導法

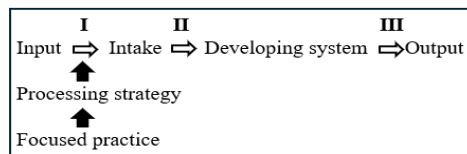


図 2.インプット処理指導法

提供可能な設備・機器：

名称・型番(メーカー)	

教養科